

伊敷台中『日和』

伊敷台中学校だより
8月号 (R5. 8. 21)
文責：校長

薩摩義士の功績でつながる中学生交流の輪

—— 岐阜県大垣市の中学生を迎えて ——



1753年、徳川幕府は尾張（岐阜県）で毎年のように氾濫を起こしている木曾川・揖斐川・長良川の治水工事を薩摩藩に命じました。この難工事により、薩摩藩は多くの犠牲者を出しました。工事に参加した藩士は「薩摩義士」と呼ばれ、その功績から、鹿児島市と大垣市は盟約を結び、様々な交流が続いています。

夏休みが始まった7月25日、大垣市中学生の使節団17人が鹿児島中央駅に到着。中央駅で行われた「使節団歓迎式」で中心的な役割を担ったのが我が伊敷台中学校生徒会。

生徒会文化部長の上久木田葵衣さんは、「ようこそ鹿児島へ。この日を楽しみに待っていました。」と歓迎の挨拶。使節団は鹿児島市の中学生との交流や史跡等を巡り27日に帰路に。

8月2日、次は鹿児島の使節団が大垣市へ出発。使節団の一員として生徒会長の一氏夕夏さんが参加。大垣市での歓迎会では、使節団の代表として「薩摩義士の偉業を目の当たりにでき感銘を受けた。」と挨拶。また、歓迎会には、昨年まで本校に岐阜県との交流教員として勤務し、大垣市へ赴任した綿貫優子先生も出席。そこには久しぶりの再会を喜ぶ生徒と教師の姿が。正に先人の業績や尊い歴史が、人々の心と心を繋いでいることを実感した瞬間となったのでは。

「鹿児島市と大垣市の交流」。なぜ、江戸幕府は遠く離れた薩摩に治水工事を命じたのか。なぜこの交流が今も続いているのか。薩摩義士についてあまり知らない人は、これを機会にしっかり調べてみてはどうだろう。

地域の方々との連携による青少年の健全育成

—— 第1回民生委員との連絡会の開催 ——

8/10(木)、本校にて「第1回民生委員との連絡会」を開催しました。

民生委員は、地域住民の様々な相談や支援活動を行うなど社会福祉の増進に努め、本校区には主任児童委員も含めて31人おられます。

連絡会では、本校における「教育活動・PTA活動の状況」「生活指導の現状と課題」等、委員の皆様からは、地域で過ごす生徒の様子などを基に意見交換がなされ、大変有意義な会となりました。



負けることの良さ → 悪者になってみよう？

—— 野球観戦から考えをめぐらしたこと ——

夏の全国高校野球もいよいよ大詰め。鹿児島県代表の神村学園の活躍は素晴らしく、県民に大きな感動と勇気を与えています。

スポーツの世界に限らず、「判官ひいき」という諺もあるとおり、勝負事では勝者以上に敗者に注目が集まることがあります。たとえば、負けているチームが最後の最後まで諦めずに相手に挑んでいく姿は周囲に大きな感動を与えることから、自ずと応援したくなります。また、プレーヤーの側からも見ても、負けることから学ぶことは多くあり、長い人生においても貴重な体験となると言われています。

話は変わりますが、人は、何か問題が起きた時、「私は知らなかった。」とか「そんなつもりはなかった。」と、保身からいい人になろうとすることがあります。問題を改善し良好な環境を作ろうとする際、皆がそういい始めると收拾がつかず、争い事が起きることもあるかもしれません。そこで、そんな時に「私が早く気がつけばよかった。」とか、「私にも責任があるのではないか。」と、敢えて自分を悪者にするような発言は謙虚な姿勢として周囲の人の心を動かし、物事が穏やかに解決していくきっかけになるに違いないと考えます。

甲子園で一生涯懸命にプレーしている球児の姿から、「負けることの良さ」について自分の生き方に置き換えて思いをめぐらした時、「いい人より悪者になる。」こんなことを皆さんに伝えてみたいと思いました。

認め、支え合う集団づくりを目指して

—— 1学期の生徒自己評価から ——

本校では、学校教育における指導の重点の一つに、「協同学習による学び合う学校づくり」を掲げて日々の教育活動に取り組んでいます。

学校だより7月号では、生徒会役員が自主的にこの活動を紹介し、全校生徒の意識を高めようとしている様子をお知らせしたところです。

次の表は、1学期に実施した「生徒による自己評価」の集計結果です。（評価は4段階で実施）生徒による自己評価は毎年、每学期末に実施し、生徒の変容を評価していきます。

生徒の皆さんは、学校全体の平均値と自己評価を比較して、どんな感想を持ったでしょうか。改めて1学期の学習の様子を振り返り、2学期の取り組み方について考えてみましょう。

	評価項目	平均値
1	わたしは、授業では友達の発表や意見を最後までしっかり聴くことができました。	3.5
2	わたしは、授業で「わからないこと」は、友達に尋ねることができました。	3.4
3	わたしは、授業で友達に聞かれたら、丁寧に説明することができました。	3.1